

兵庫県立山崎高等学校 令和6年度学校評価報告書

学校教育目標				重点目標		
(1) 時代がどのように変わろうとも、心豊かにたくましく生きていく人を育てる。 (1) ふるさとに学び、ふるさとを愛し、地域に貢献する人づくり。 (2) 学業と部活動に力一杯取り組み、高き理想に挑戦する人づくり。 (3) 夢をかたり、夢をはぐくみ、夢をかなえる人づくり。				(1) 主体的に学習に取り組む姿勢を育み、進路目標に応じた学習の充実により、学力向上をめざす。 (2) 互いを尊重する思いやりの精神とともに、自他の命や人権を大切にすることを育む。 (3) キャリア教育を通して、学ぶ意義や将来の目標を見出し、キャリアプランニング能力を育むとともに、自立した社会人に必要な能力を培う。 (4) 地域と連携した活動により、ふるさと意識を育むとともに、人々との絆を深め、社会の一員としての自覚を高める。 (5) グローバル化の進展に対応して、語学力やコミュニケーション能力を高めるとともに、主体性や創造性、チャレンジ精神をもって行動する力を育む。 (6) 災害から得た教訓を生かし、助け合いの精神やボランティア精神を育むとともに、山崎断層帯に位置する学校として防災教育を推進し、災害への対応力を高める。 (7) 「ノー部活デー」、「ノー会議デー」、「定時退勤日」を完全実施し、勤務時間の適正化に努める。		
教育方針						
(1) 自らの可能性を信じ、困難や逆境に立ち向かう人を育てる。 (2) 郷土を愛し、地域の人々と支え合い協力して、兵庫の発展に貢献する人を育てる。 (3) 伝統と文化を尊重するとともに、多様な価値観を理解し、国際社会に貢献する人を育てる。 (4) 思いやりと寛容の心を持ち、命と人権を大切にすることを育てる。						
令和6年度学校評価項目			評価の平均	令和5年度の平均	令和6年度の取組と課題	学校評議員・保護者などの意見（抜粋）
学校運営	学校開かれたづくり	各種の通信やホームページ、オープンハイスクール等により生徒・保護者・地域に情報を発信している。	3.27	3.24	・本校webページのブログ欄の更新頻度をあげ、情報発信に努めている。 ・「山高タイムズ」（学校便り）を定期的、継続的に発行し、在校生の出身中学校や市役所、加生自治会、神姫バス山崎停留所などに配付し、情報発信に努めている。	・学校行事の案内や心理相談などの保護者向けの案内は1、2ヶ月前にしていたけると有り難い。メール等で保護者に直接連絡もらえるシステムが欲しい。（保護者意見） ・子どもたちが、様々なことに意欲を持って取り組めるように、考えてくださってと思う。オープンスクールや各行事などとても楽しみです。（保護者意見） ・欠席連絡をGoogleフォームにして欲しい。朝の限られた時間に電話を掛けるのが大変だし、電話に出られる先生が誰なのかも分からないとしても事務的で話にくい。（保護者意見） ・より多く本校への進学希望を求めるために、地教委との連携や市内各中学校へのアプローチも一層強化いただきたいと思います。（評議員意見） ・毎回送付いただいている通信は写真が多く、活動内容が分かりやすいです。（評議員意見） ・オープンハイスクールや各種行事においてさらに広報を行えば、山高の素晴らしさが地域にも分かってもらえると思います。（評議員意見）
		学校評議員の意見、保護者や地域の声を学校改善に生かしている。	3.10	3.05		
	進校携内	各学校行事の反省を整理し、課題を共有して工夫・改善に取り組んでいる。	3.14	3.11	・地域の催しに積極的に参加して、地域の活性化に貢献した。	
	生徒指導	教職員が生徒指導の方針・目標を理解し、組織的な生徒指導を展開している。	3.09	3.06	・生徒が安全で安心して学校生活が送れるように取り組んだ。また、多様な生き方を尊重するために令和5年度からジェンダレスの制服の導入した。急速に変化する社会に対応した校則の見直しを今後も検討していきたい。	・生徒の質が悪過ぎる（保護者意見） ・明らかに髪を染めていたり、パーマをあてている生徒を見て見ぬふりをするのはとても不愉快です。真面目に頑張っている生徒の士気が下がる。（保護者意見） ・通学の靴が革靴なので靴スレするのでスニーカーでもOKにして欲しいです。（保護者意見） ・身だしなみにヘアワックスを使用することが禁止の理由を教えてください。（保護者意見） ・見るからに、パーマをかけていたり、カラーをしている生徒には元の髪にする指導はされていないのですか？（保護者意見） ・生徒によって態度が違う先生が何人かいる、意識注目するところがずれている気がします。もう少し他のところで山崎高等学校のイメージ向上を目指してほしいと思います。（保護者意見） ・服装指導に差があるようです。子供が言う事なので本気にしてませんが、注意しないといけない生徒には言わず、自分が注意される言っていました（保護者意見） ・風紀が厳しいと思う。例えばサイドのおくれ毛を巻いてはだめとか。普通の子がやることは許してあげてほしい。あと、アルバイトも許可してほしい（保護者意見） ・たくさんの先生方にご指導いただき、ありがとうございました。学校の規則については、もう少し変えていく項目があるように思います。（保護者意見） ・髪の毛を染え染めたりパーマをあてている子をよくみかける。地毛が明るい子に注意するぐらいなら、染めている子を指導してほしい。放置するのなら、校則を髪染め図に示してほしい。（保護者意見） ・朝の登校時、先生が道路に立って見守ってくださるのは大変ありがたいのですが、山高前の道沿いに先生の車を止めて立ってらっしゃいますが、それと通れず、そうすることによって自転車に接近し、余計に危ないといつも思います。学校前の道なので、車でいかないという選択肢はないのでしょうか。車を避ける為に自転車にぶつかりそうで怖いです。（保護者意見） ・校門が狭いので生徒と車の出入りが一緒になったとき、とても危険。車は別の入り口があっても良いかと思う。（保護者意見） ・互いの違いに気づき、それを受け入れ認め合うという集団としての基本的な点は乳幼児期に培うことが大切だと考えます。深い愛情に包まれ、安心して園生活が送れることが就学後の良好な人間関係を築くことに繋がっていくと思いますので、一人一人と尊重した保育にこれからも取り組んでいきます。（評議員意見） ・生徒指導の効果が反映されているか分かりませんが、登下校時の様子を見てみると、大変清々しいと思うようになりました。（評議員意見）
		個人面談、家庭との連携を密にすることで、生徒の内面理解に基づく生徒指導を実践している。	2.98	2.97	・教職員が生徒の声に耳を傾け、深く関わりを持ち、組織的に対応することに努めたことで、大きな生徒指導事業は減少傾向である。そのことから、学校の雰囲気がい以前より明るくなっている。	
		ホームルーム活動や生徒会活動を活性化することで、生徒相互の良好な人間関係を築いている。	3.20	3.11	・昨年度に引き続き、生き方を考える講演会を実施した。特に、多様な性の在り方について考える良い機会となった。 ・いじめのアンケートを年間5回全校生に実施しいじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めた。また、昨年度に続き、夏季休業中に保護者向けのいじめに関するアンケートを実施、様々な観点でいじめの認知に努めた。	
		本校いじめ防止基本方針に基づき、いじめに対して組織的に取り組み、未然防止や早期発見を図っている。	3.00	2.99	・昨年度に引き続き、生徒会が中心となり、山崎町内の保育園・幼稚園・さつき学級へ花を植えたプランターと花壇名「やまこうかだん」と記した看板を寄贈し、地域貢献に取り組んだ。 ・イオン山崎店で、生徒会や有志で能登半島地震で被災された方を支援する活動の一環として募金活動を実施した。	
	進路指導	進路指導部と学年・教科が連携し、進路実現に向けて計画的・組織的な指導を展開している。	3.17	3.10	・森と食科では、2年生を対象にインターンシップを実施し、地域の企業で関連する作業に触れることで勤労観・職業観を身につけることができた。	・担任の先生とお話できる機会が、三者面談くらいしかないように思いますが、山高高校は冬の三者面談がないと知り大変驚きました。成績や進路の相談をしたくてもなかなか機会がないので必要だと思います。（保護者意見） ・1年生の段階で生徒に進路についての危機感をもっと持たせて学習意欲を高めて欲しい。例えば公立大学の推薦基準は何年生のいつ頃までどのくらいまで達していないと貰えないなどをもっと生徒に教えて欲しい。（保護者意見） ・教職員の工夫力は十分に察しますが、進路の状況を見るにつけ、なお一層の学力向上を図っていただきたいと思っています。（評議員意見） ・教育への関心が高まり、志す生徒が一人でも増えることを願います。（評議員意見） ・大学受験をさらに一段階上の大学を志望させないと、指定校も少なくなる一方だと思います。（評議員意見）
		就職・進学に関するガイダンスを充実し、進路意識や進路実現への意欲を高めている。	3.22	3.09	・生徒の希望進路に応じ、ガイダンスを実施し、進路実現に向けた取組について理解を深めることができた。	
		企業見学・インターンシップやオープンキャンパスにより進路動機や勤労観・職業観を醸成している。	3.24	3.09	・企業と連絡を密に取ったり、応募前見学の推奨や面接指導や面談の充実に取り組み、確かな勤労観の育成を図った。 ・学力向上に向け、組織的に補習計画を立て、体系的に実施することができた。	
学校運営	教員の資質向上	研究授業や授業公開、生徒による授業評価を実施して教科指導力の向上に努めている。	2.91	2.91	・研究授業、授業公開、授業評価の充実を図った。	・生徒の学力向上や生活の質の向上には教員の指導力も大きく関係しているので、資質向上に向けての努力に今後も期待します。（評議員意見）
		主体的に研修会に参加するなど、課題意識をもって自己の研鑽に努めている。	3.07	3.05	・若手教員が多いことからOJT（On the Job Training 職場で実務をさせること）で行う職業教育のこと）の充実を図り、学校教育現場での教員としての資質の向上を目指した。	
教育課程	個に応じた指導	生徒の興味・関心・進路目標に配慮した選択科目や類型を設定し、各科の特色化を図っている。	3.16	3.12	・新学習指導要領が施行され、教育課程を毎年見直すことで、多様化する生徒たちの進路希望に柔軟に対応可能な教育課程の編成を目指した。	・修学旅行が海外なのは大変な負担だった。公立高校で必要ない。（保護者意見） ・1年の保健のワークについて解答を配ってこない為ちゃんとした答えがわからないまま、テストをするのはおかしいと思います。テスト前には課題としてワークの宿題を出しきちんと集めて、チェックした後ちゃんとした解答配って欲しいです。大変困っています。（保護者意見） ・修学旅行について、もう少し説明が欲しかった。事情があり不参加の生徒も多いと聞いたので、国内でも良かったのではないかと考えた（保護者意見） ・教育の現場にもAIを導入することが求められる時代が来ているように思います。そのためのルール作りや利用するAIの種類の選定、厳格なセキュリティ対策等が急がれると思います。（一学校の課題ではないと思いますが）（評議員意見） ・保護者意見に海外の修学旅行の問題提起がありましたが、円安で苦しいとは思いますが、可能な限り継続をして、直接世界に触れる機会を提供してあげてもらいたいと思います。（評議員意見） ・山高の特色をもっとアピールすべきではないか。（評議員意見）
	意欲の喚起	授業を工夫し、基礎・基本の定着と学習意欲の伸長を図っている。	3.03	2.98	・令和4年度より始まったBYOD（Bring Your Own Device）を受け、効果的なICT機器の利活用に向けた教員間での情報共有を密にしている。	
	自ら学び考える力の育成	体験的・問題解決的な学習の展開を通して、自ら考え、判断し、行動する力を育成している。	3.07	3.02	・森と食科では、実習や演習を充実させ、国有林などの関連施設の見学研修や、特別非常勤講師など民間人材を活用し、特色ある授業展開を行った。 ・修学旅行ではシンガポール共和国及びマレーシアを訪問し、現地の人々との交流を通して、多様な価値観や他者を理解する能力、課題解決能力を身につけた。	
課題教育	活動外	部活動の充実を通して、技能の向上とともに健やかな体・豊かな心の育成に努めている。	3.25	3.15	・ノー部活動デーを完全実施し、時間にゆとりを持った部活動が実施できている。 ・生徒自らが主体的に部活動に取り組んでいる。	・部活の顧問の先生が試合の時はただ椅子に座ってるだけ、部活もあり出てこない、何年間か同じ部活の顧問をしているが、そのスポーツの事を勉強しようとしてない…。こないだの試合も「負けるとか思った。」と言われたと生徒が言ってきた。先生の中で顧問の方がいないのであれば、外部コーチを頼むとか何か方法はないのでしょうか？せっかく部活に入ってるのだから、やってよかったなと思える部活を作りあげろ先生に顧問をお願いしたいです。（保護者意見） ・クラブ活動に関して、生徒自身が勉強とのバランスがとれているかどうか心配です。（評議員意見） ・部活動に対して、保護者の過度な期待や干渉がないかどうか、またそれがあるとしたら指導教員に過度の負担がかかっていないか、ひいては本来の授業の妨げになっていないかも気になります。（評議員意見）
	安全・防災教育	防災・安全教育を充実し、職員・生徒の危機意識を高め危機管理の実践力・組織力を高めている。	3.28	3.18	・森と食科では、実習における安全教育を行っており安全の心得に基づき、安全な実習に取り組んでいる。 ・山高街の駅を開催し、防災ワークショップ等を行い地域の方々と防災意識を高めた。 ・防災体験活動では、千人鍋で作る山高防災豚汁のレシピ作りを森と食科生徒が担当し、炊き出しの成功に貢献した。 ・防災体験活動では、土嚢積み体験、ロープワーク、避難所の設置体験、AED使用体験などを行った。	・毎年12月に加生自治会も防災活動に参加させていただいて感謝しています。（学校評議員） ・よく取り組まれていると思います。（学校評議員）
	教育情報	個人情報の取り扱いや情報発信が社会に与える影響を理解し、情報モラルに関する意識を高めている。	3.23	3.16	・情報セキュリティ実施手順ののっとり、校内のセキュリティ対策を点検した。 ・個人情報の保存場所やパスワードの取り扱いについて確認し、適切に扱えるよう校内研修を行った。	・職員が高い意識で取り組むことは当然ですが、生徒の情報モラルに対しても引き続き指導をお願いします。（評議員意見）
	教育人権	各教育活動を通して、互いの人権や命を大切にすることを育んでいる。	3.17	3.08	・「夢のある人生を！～苦境に負けない前向きな人生の歩き方～」と題した人権講演会を行った。また講演会についての事前・事後指導を行った。 ・各取組を通じて、個々の生き方に関する考え方や、自他の命の大切さについて共有することで、将来の生き方について考える機会を設けた。	・人権をテーマにした研修は今後社会へ出ていく上で必ず必要となってくる。いろいろな方向の人権研修を受講してほしい。（評議員意見）
	活動体験	ボランティア等の体験活動を充実して、自己有用感や豊かな人間性・社会性を育んでいる。	3.16	3.11	・能登半島地震などに対する募金活動を行った。 ・山高街の駅をイオンなどで開催し、地域の活性化に貢献した。	・非認知能力の獲得には乳幼児期が大切だと言われています。様々な活動を通して、身につけた力を高校生になって発揮できるように工夫した取組に努めます。（評議員意見） ・大賛成です。外部に携わる機会があれば極力参加し、山高の知名度を上げてほしいです。（評議員意見）

その他学校評議員様より
・今回の授業参観は私にとってはありがたい経験でした。ほんの少しですが今の教育現場を垣間見ることができ、生徒の様子も拝見できたことはとても印象的でした。（生徒が全体に落ち着いていて、おとなしいように感じました）